

総務（全般）



大牟田市の消防の沿革

本 部 ・ 署			団		
年	月	主 な 変 遷	年	月	主 な 変 遷
明治 27	2	消防組規則（勅令第15号）制定			
//	4	大牟田町旧村別消防組結成（大牟田、横須、 稲荷、下里）			
//	11	三川村、駿馬村消防組結成			
35	3	三池町消防組結成 4部235名			
37	4	大牟田町消防組結成消防統一 420名 （大牟田、横須、稲荷、下里）			
大正 元	10	三川村町制施行			
			大正 3	8	浜田町堤防決壊水害発生
	6	3 大牟田町市制施行、大牟田市消防組結成 11部、305名			
			昭和 4	4	三川町大牟田市に合併
昭和 5	1	大牟田市常備消防隊開設（冬季のみ夜間勤務 隊員11名、消防車1台）			
//	9	大牟田市常備消防隊年間常時隔日勤務			
			8	5	大牟田市庁舎火災全焼
	8	7 分団詰所で三川出張所仮開設			
			9	9	大牟田市防護団結成11分団、5,000名
			12	11	大牟田市防護団改組、東、西、南、北 4分団、4,000名
			13	4	駿馬村、町制施行
			14	1	警防団令（勅令第20号）制定
14	4	大牟田市常備消防隊隔日勤務15名、2台	//	4	大牟田市警防団結成11分団、1,506名
16	4	三池町、駿馬町、銀水村、玉川村、大牟田市に合併			
			17	8	海岸堤防決壊大水害発生
			18	7	大牟田市警防団水上分団新設 （20分団）3,804名
18	7	特設消防署規定改正			
//	//	官設大牟田消防署仮開設	//	//	三川町出張所仮開設（11分団詰所）
//	//	大牟田消防署開設（旧常備建物）署員31名			
//	//	三川町出張所仮開設（11分団詰所）			
19	4	駿馬派出所開設			
//	7	通町、銀水、横須派出所開設			
//	9	大正町派出所開設			
//	11	旭町出張所開設			
//	//	上官町派出所開設			
//	12	三川町出張所落成			
//	//	三池町派出所開設			
20	6	本署新庁舎落成（浄真町）	20	6	空襲により市街地焼失する
//	7	駿馬、横須派出所爆撃により焼失			
//	//	旭町、大正町出張所爆撃により焼失			
//	8	久留米分駐隊派遣隊員54名 消防車5台			
//	//	久留米分駐隊帰隊			
			22	4	消防団令（勅令第185号）制定
			//	10	大牟田市消防団結成 団員2,154名
			//	12	消防組織法法律第226号公布
23	3	消防組織法施行、自治体消防発足			
//	//	自治体消防発足、本部署員103名			
//	//	消防法施行			
//	//	大牟田市消防本部、消防署設置条例制定公布			
昭和 23	7	高田村及び荒尾市と消防相互応援協定締結	昭和 23	8	官名改正、消防団令制定（政令59号）
			//	12	消防団設置規定

	24	4	常設消防力基準の制定				
	//	8	水防法の施行				
				24	9	水上分団廃止、分団名改正（学校名19分団）	
				//	12	都市等級調査（7級）	
				25	2	消防団員服制制定	
	25	4	消防吏員の服制制定				
	26	2	火災予防条例準則告示				
	//	7	南関町と消防相互応援協定締結				
	27	2	明治町出張所を職員特別住宅として使用				
	//	6	海上保安部長及び三池港長との消防業務協定締結				
	//	7	国家消防庁を国家消防本部に改称				
	28	4	消防賞じゅつ金条例制定	28	4	消防団条例制定19分団 42部 905人	
	//	//	日出町出張所開設 望楼24m				
				29	1	県消防協会長表彰受賞（団）	
	29	6	山川村と消防相互応援協定締結				
	30	1	県知事表彰受賞				
	//	9	上官町派出所を移設し勝立出張所開設				
				30	11	消防団員等公務災害補償共済基金法施行	
	31	2	日本消防協会長表彰受賞				
	//	3	消防専用中短波無線電話装置設置				
	//	4	消防本署望楼新設 31m				
	//	12	大牟田市工場防火協会大牟田市石油防災協会結成				
	32	3	大牟田市任意救急隊発足（消防車による）				
				32	9	県操法大会優勝（自動車部）銀水6部	
	//	11	大正町出張所開設				
	33	9	日本損害保険協会により消防自動車寄贈				
	//	//	本署、日出町出張所に5馬力動力サイレン設置				
	34	3	国家消防本部表彰旗受賞（署団）	34	3	国家消防本部表彰旗受賞（署団）	
	//	4	国家消防本部に消防中学校設置				
	//	6	都市等級調査（第2回） 5級				
	//	7	消防庁任命資格を定める政令施行				
	//	9	危険物政令施行				
	35	7	国家消防本部を消防庁と改称				
	//	8	大牟田市危険物安全協会発足				
	//	9	消防本部、署庁舎改築				
	36	4	消防法施行令、規則施行	36	4	退職消防団員の報償実施	
	//	8	消防力基準制定				
	37	3	スノーケル車購入配置				
	//	5	消防吏員階級準則改定				
				37	10	日本消防協会表彰受賞（水害）	
	//	11	救急自動車購入配置				
	//	12	消防庁長官表彰受賞（署、団）	//	12	消防庁長官表彰受賞（署、団）	
				38	3	建設大臣表彰受賞（水害）	
				//	7	集中豪雨による大水害発生	
	38	8	危険物一般防災協会発足	//	11	三井鉱山三川鉱爆発	
	39	2	救急業務実施義務市町村政令指定				
	//	4	救急業務実施義務政令指定				
昭和	39	12	消防水利基準制定	昭和	39	12	消防団員階級準則制定
	40	10	大牟田市消火器検査協会発足				
				40	12	国鉄と西鉄バス衝突事故	
	41	8	工場防火協会と災害時消防協定成立				
	//	12	消防用超短波無線電話機設置				

			42	6	大浦・三塚山山林火災
	42	7	液化石油ガス貯蔵又は取扱の届出義務		
	//	10	筑後地区消防設備士会大牟田部会発足		
	43	3	液化石油ガス法施行		
	//	9	消防庁長官表彰受賞（署・団）	43	9
	//	//	大牟田及び大牟田中央ライオンズクラブより 救急自動車寄贈		
	//	11	日本損害保険協会より消防自動車寄贈（水そう付）		
				45	12
	46	2	化学消防車購入配置（一部寄贈）		消防団（上内分団3部）に初めて小型動力ポンプ付 積載車配置
	47		ピーパーサイレン取付け		
	//	11	中央ライオンズクラブより広報車寄贈		
	//	12	消防署長公舎廃止		
	//	//	消防無線切替（県、市波）		
	48	2	銀水派出所廃止		
	//	5	高田町、山川町、及び瀬高町外2町消防組合と の消防応援協定締結		
	//	10	救助訓練開始（久留米市消防本部へ5名派遣）		
	//	12	三川町出張所改築開所		
	//	//	救急車購入		
	49	1	日出町出張所に救急車配置 救急隊2隊運用開始		
	//	2	トラッククレーン車による救助活動基準制定		
	//	3	東京海上火災保険K. Kより救助用器材寄贈		
	//	//	三池港流出油災害対策協議会発足		
	//	7	消防副士長制度採用		
	50	3	梯子付ポンプ自動車購入（32m級）		
	//	10	大牟田市危険物安全協会より小型広報車寄贈		
	51	2	消防本部（署）庁舎2階部分増築 （通信指令室仮眠室）		
	//	3	消防、救急指令装置（B型）設置		
	//	//	日本損害保険協会より救急車（2B型）寄贈		
	//	5	救助訓練塔（架設）設置		
	52	1	不知火公舎廃止		
	//	2	荒尾市、南関町、有明消防組合と新消防相互 応援協定締結		
	//	7	職員6名増員、127名となる		
	//	8	休日急患診療体制発足		
	//	11	中央ライオンズクラブより救助工作車寄贈		
	53	2	小型消防ポンプ自動車購入配置		
	//	//	救急用超短波無線電話装置の配置		
	54	1	北部出張所用地買収		
	//	3	三井コークス工業株式会社と災害防止協定成立		
	//	8	職員6名増員、133名となる		
	//	12	3B型救急車購入		
昭和	55	1	日本損害保険協会より水そう付消防ポンプ自動車 寄贈		
	//	2	CD-1型消防ポンプ自動車購入		
	//	3	救急医療情報システム運用開始	昭和	55
	//	4	日出町出張所を廃止し吉野出張所開設		3
	//	5	消防本部、消防署機構改革		
				//	6
					中央ライオンズクラブより消防団指令車寄贈

	//	11	16m級屈折放水塔付消防ポンプ自動車（スクア ート）購入（化学車廃止）				
56		1	三池港、大牟田港流出油災害対策協議会と名 称、内容一部変更				
	//	2	本署改築（警防課事務室厨房他）				
	//	//	本部（署）物品倉庫新築				
	//	3	ガス洩れ爆発事故対策協定（電気、ガス事業者）				
	//	6	査察広報車購入	56	9	BS-1型消防ポンプ自動車（団）購入	
	//	11	2B型救急車購入				
57		2	防災行政無線運用開始	57	2	防災無線運用開始	
	//	8	予防広報車購入				
				//	9	BS-1型消防ポンプ自動車（団）購入	
58		2	辻政則氏よりレサシベビー、被救助者用酸素呼 吸器寄贈				
	//	3	本署自動車車庫、自転車置場新築	58	3	中友分団格納庫大正町出張所内より分離新築移転	
	//	//	勝立出張所を馬渡町から新勝立町5丁目へ新築移転				
				//	9	BS-1型消防ポンプ自動車購入	
	//	10	職員特別住宅解体				
	//	//	指令車、資材搬送車購入				
	//	//	片山喜一氏より酸素呼吸器寄贈				
	//	//	三池公舎解体	59	1	有明鉱災害（高田町）	
59		2	訓練塔（鉄筋コンクリート造5階建）を勝立出張所内 に建築				
	//	5	本署望楼（31m）解体撤去				
60		4	通信指令装置（電子式）設置	60	8	台風13号	
				61	3	笹林分団消防ポンプ自動車格納庫改築	
				//	//	上内分団第2部、倉永分団第6部小型ポンプ格納 庫改築	
61		9	2B型救急車購入	62	3	明治分団消防ポンプ自動車格納庫改築	
				//	//	玉川分団6部小型ポンプ格納庫改築	
				63	2	大正分団消防ポンプ自動車購入（更新）	
63		3	本部、本署（一部）改築（総務、予防課、3階講堂）				
	//	//	梯子車購入				
	//	4	大正町出張所を廃止し明治出張所を開設				
	//	5	特別救助隊発足	平成	元	2	川尻分団消防ポンプ自動車購入（更新）
平成	元	3	救助工作車Ⅱ型購入				
				//	9	団指令車購入（更新）	
	//	11	防災指導車（新規）				
	//	12	2B型救急車購入（更新）				
平成	2	1	現場指揮車購入（新規）				
	//	//	CD-1型消防ポンプ自動車購入（更新）	平成	2	2	駛馬北分団消防ポンプ自動車購入（更新）
	//	6	物資搬送車購入（新規）				
	//	11	査察車購入（更新）				
				//	12	平原分団消防ポンプ自動車購入（更新）	
3		1	水-2型水そう付消防ポンプ自動車購入（更新）				
	//	4	大牟田市工場防火協会より人員搬送車寄贈	3	9	大型台風17号、19号来襲	

	//	10	日本損害保険協会より水そう付消防ポンプ自動車 寄贈				
	//	12	2B型救急車購入（更新）		//	12	手鎌分団3部小型ポンプ積載車（更新）
					//	//	玉川分団2部小型ポンプ積載車（更新）
					//	//	上官分団小型ポンプ積載車（軽新規）
					//	//	玉川分団5部小型ポンプ積載車（軽新規）
4		2	水-2型水そう付消防ポンプ自動車購入（更新）				
//		7	火災原因調査車（更新）				
5		2	本署消防ポンプ自動車CD-1（更新）	5		2	笹林分団 新機種CD-1（更新）
				//		3	銀水分団4部小型ポンプ積載車（軽新規）
				//	//	//	駿馬南分団2部小型ポンプ積載車（軽新規）
				//	//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（久福木新規）
	//	4	水難救助車（新規）				
	//	8	潜水隊発足				
6		1	緊急通報システム発足				
//		2	本署・水-2型消防ポンプ自動車購入（更新）	6		2	倉永分団3部小型ポンプ積載車（更新）
				//	//	//	上内分団3部小型ポンプ積載車（更新）
				//		3	手鎌分団2部小型ポンプ積載車（軽新規）
				//	//	//	三池分団2部小型ポンプ積載車（軽新規）
				//	//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（深浦新設）
				//	//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（歴木新設）
	//	6	大牟田市防災協会連合会発足				
				//		9	団本部消防指令広報車（新規） （日本消防協会より寄贈）
7		1	2B型救急車更新（本救）	7		1	阪神・淡路大震災発生
//		2	阪神淡路大震災出向	//		2	倉永分団第2部小型ポンプ積載車（新規）
//		3	完全防護服購入	//		3	白川分団新機種CD-1（更新）
				//	//	//	大牟田市コミュニティ消防センター （駿馬北新設）
				//	//	//	倉永分団第2部拠点施設（新設）
8		4	本部、本署改装（1階・通信機械室、2階・予防課、 総務課、通信指令室、仮眠室）				
//	//	//	消防緊急通信指令施設Ⅱ型運用開始				
//	//	//	消防及び救急無線設備基地局更新				
//	//	//	消防無線全国共通波導入				
//		5	緊急通報専用ファクシミリ運用開始				
9		2	2B型救急車：吉野（更新）				
//		3	資材搬送車（更新）	9		3	上内分団1部小型ポンプ積載車（新規）
				//	//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（四箇新設）
	//	4	消防署3部制本格実施（組織機構改定）				
//	//	//	本署自動車車庫増築、中庭舗装				
//		8	勝立救急隊（消防隊兼務）発足				
平成	9	11	2B型救急車 勝立（更新）				
10		3	化学消防ポンプ自動車4型購入（新規）	平成	10	3	指揮広報車（団指令車）購入（更新）
//		4	大牟田市防災行政無線運用開始				
//		//	携帯電話等による119分散受信開始 （柳川、瀬高消防管内含む）				
11		3	救助工作車Ⅱ型（更新）	11		3	明治分団新機種CD-1（更新）
//	//	//	本署 高規格救急自動車購入（更新：2Bら高規格）	//	//	//	大牟田市コミュニティ消防センター（甘木新設）
				//	//	//	手鎌分団5部小型ポンプ積載車（新規）
//		8	高規格救急自動車運用開始	//		8	銀水分団6部新機種CD-1（更新）
				//		12	女性消防団員入団（20名）
				12		9	中友分団新機種CD-1（更新）

				11	4	消防団協力事業所表示制度発足
				11	6	消防団広報紙発行（第2号）
				11	8	女性分団車（新規）※指揮広報車を団本部付に変更
				11	9	携帯型デジタル簡易無線配置（副分団長）
				11	11	第23回消防操法大会 自動車の部出場
				11	11	倉永第2部 小型動力ポンプ付積載車（普）（更新）
				11	12	白川分団 消防ポンプ車（更新）
				11	11	消防団条例を改正し、市内に在学する学生の入団を許可
				11	11	消防団広報紙発行（第3号）
27	2	水難救助車購入（更新）		27	4	女性副団長登用
				11	11	方面隊発足
11	6	本署 はしご付消防自動車購入（更新）		11	5	警笛配布（全団員）
				11	6	消防団広報紙発行（第4号）
					9	女性や若者をはじめとした消防団 加入促進モデル事業（国委託事業）実施 （委託期間H27.9～H28.2）
11	11	本署 人員搬送車購入（更新）				
11	11	中島利男氏より高規格救急自動車（明治）寄贈				
11	11	筑後地域消防指令センター（仮）運用開始（大牟田市）				
11	11	明治救急隊（専任）発足				
				11	12	消防団広報紙発行（第5号）
				28	3	消防庁長官表彰（地域活動表彰）
				11	11	消防団向け災害覚知システム運用開始
				11	11	携帯型デジタル簡易無線配置（部長以上）
				11	11	デジタル簡易無線配置（車両、格納庫、出張所等）
				11	11	平原分団格納庫新築
28	4	筑後地域消防指令センター運用開始		11	4	大牟田中央分団発足（旧笹林（1部）、旧上官（2部））
11	11	平成28年熊本地震 緊急消防援助隊出向		11	11	熊本地震発生
				11	5	消防団広報紙発行（第6号）
				11	6	女性や若者をはじめとした消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施 （委託期間H28.6～H29.2）
11	10	寄付金（市民）により高規格救急自動車（本署）更新		11	11	消防団広報紙発行（第7号）
				29	3	総務省消防庁長官竿頭授与（署・団）
				11	4	天の原分団設立（新設）
29	6	福岡県嘉麻市産業廃棄物火災 福岡県消防相互応援協定1 隊出向		11	5	消防団広報紙発行（第8号）
11	7	平成29年7月九州北部豪雨 福岡県消防相互応援協定1 隊出向		11	6	女性や若者をはじめとした消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施 （委託期間H29.6～H30.2）
30	3	本署1 分隊 水-II型消防ポンプ自動車購入（更新） 緊急援助隊登録車両		11	12	防災学習・災害活動車（分団本部車） 公益財団法人日本消防協会より寄贈
11	6	筑後地域消防指令センター 119番通報等における多言語通訳導入		30	2	羽山台分団格納庫新設
11	7	平成30年7月豪雨（広島市） 緊急消防援助隊出向		11	3	消防団広報紙発行（第9号）
				11	4	駛馬分団発足 （旧駛馬南1 部、2 部（3 部）、旧駛馬北（2 部））
				11	7	消防団応援の店事業開始
				11		方面隊改正
				11		企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施（一次） （委託期間H30.7～H31.2）
				30	9	消防団広報紙発行（第10号）
11	11	本署シャッターへの反転画像投影 開始		11		企業・大学等との連携による女性・若者等の消防団 加入促進支援事業（国委託事業）実施（二次） （委託期間H30.7～H31.2）

				//	11	学生分団発足（機能別分団）
				//	//	銀水分団第 1 部格納庫土地（125㎡）無償寄贈
31	1	高規格救急自動車（吉野）更新	31	2	明治分団	消防ポンプ車（更新）
	//	指揮車（本署）更新		//		消防団広報紙発行（第 1 1 号）
				//	3	手鎌第 5 部 小型動力ポンプ付積載車（普）（更新）
				//	//	消防団向けアプリ「め組」 4 市町で運用開始 （大牟田市、みやま市、荒尾市、南関町）
				//	4	天の原分団格納庫運用開始

消防庁舎の状況

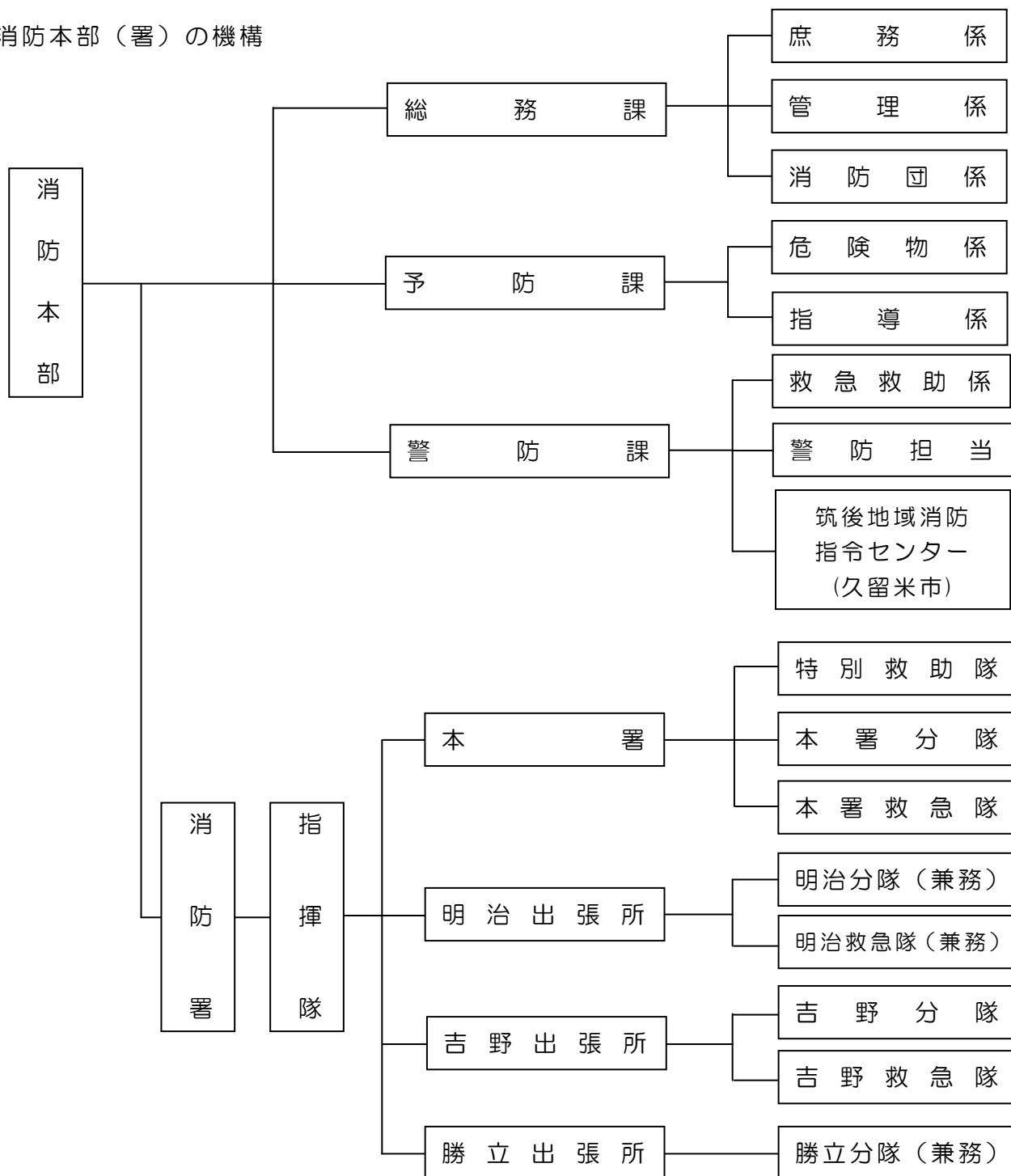
区分	現在地	敷地面積	用途	建築物の構造	床面積(㎡)	備考			
消防本部 (本署)	浄真町46	3,168.28 ㎡	事務室・通信指令室	鉄筋コンクリート造 アスファルト断熱防水保護 コンクリート屋根	1階	515.35	2,097.43 ㎡		
			仮眠室・食堂・厚生室		2階	519.90			
			事務室・消防長室		3階	519.90			
			消防団本部室		4階	519.90			
			会議室・防災対策室		R階	22.38			
			通信機械室			鉄骨 ウレタン・FRP複合防水 屋	1階	1096.19	1,250.16 ㎡
			車庫		2階		78.28		
			駐車場		3階		75.69		
			訓練塔						
			自転車置場(1)	鉄骨造アルミ屋根	14.15				
			自転車置場(2)	鉄骨造アルミ屋根	14.15				
小計				3,375.89					
吉野出張所	大字白銀 36-2	1,206.22 ㎡	車庫・事務室・待機室	鉄筋コンクリート陸屋根	1階	251.25	392.06 ㎡		
			仮眠室・会議室・更衣室		2階	125.25			
			階段室		3階	15.56			
			LPG置場	ブロック造スレート葺鉄扉	1.36				
			自転車置場	鉄骨造鉄板葺吹払	9.8				
			小計				403.22		
明治出張所	健老町 38-8	1,663.08 ㎡	車庫・研修室・その他	鉄筋コンクリート陸屋根	1階	343.75	578.75 ㎡		
			仮眠室・事務室・待機室		2階	235.00			
			車庫	鉄骨造平屋建	48.00				
			LPG置場	ブロック造スレート葺鉄扉	3.12				
			自転車置場	鉄骨造鉄板葺吹払	9.5				
			小計				639.37		
勝立出張所	新勝立町 5丁目1-2	824.28 ㎡	車庫・事務室・待機室	鉄筋コンクリート陸屋根	1階	193.38	282.13 ㎡		
			仮眠室・更衣室		2階	72.25			
			階段室・倉庫		3階	16.5			
			屋内貯蔵庫・LPG置場	ブロック造スレート葺鉄扉	2.72				
			自転車置場	鉄骨造鉄板葺吹払	4.9				
			訓練塔	鉄筋コンクリート陸屋根	143.42				
			小計				433.17		
			合 計					4,851.65	

組織機構

名称、位置管轄区域

名 称	位 置	管轄区域
大牟田市 消 防 本 部	大牟田市浄真町 46	市内全域
// 消 防 署	同 上	//
// 吉野出張所	大牟田市大字白銀 36-2	市内北部
// 明治出張所	// 健老町 38-8	// 西部
// 勝立出張所	// 新勝立町 5 丁目 1-2	// 東部

消防本部（署）の機構



大牟田市消防本部・消防団配置状況

